

別 冊

都 民 生 活 に お け る 事 故
(家庭内における事故事例集)



平成 1 9 年 1 1 月

東京消防庁防災部生活安全課

目 次

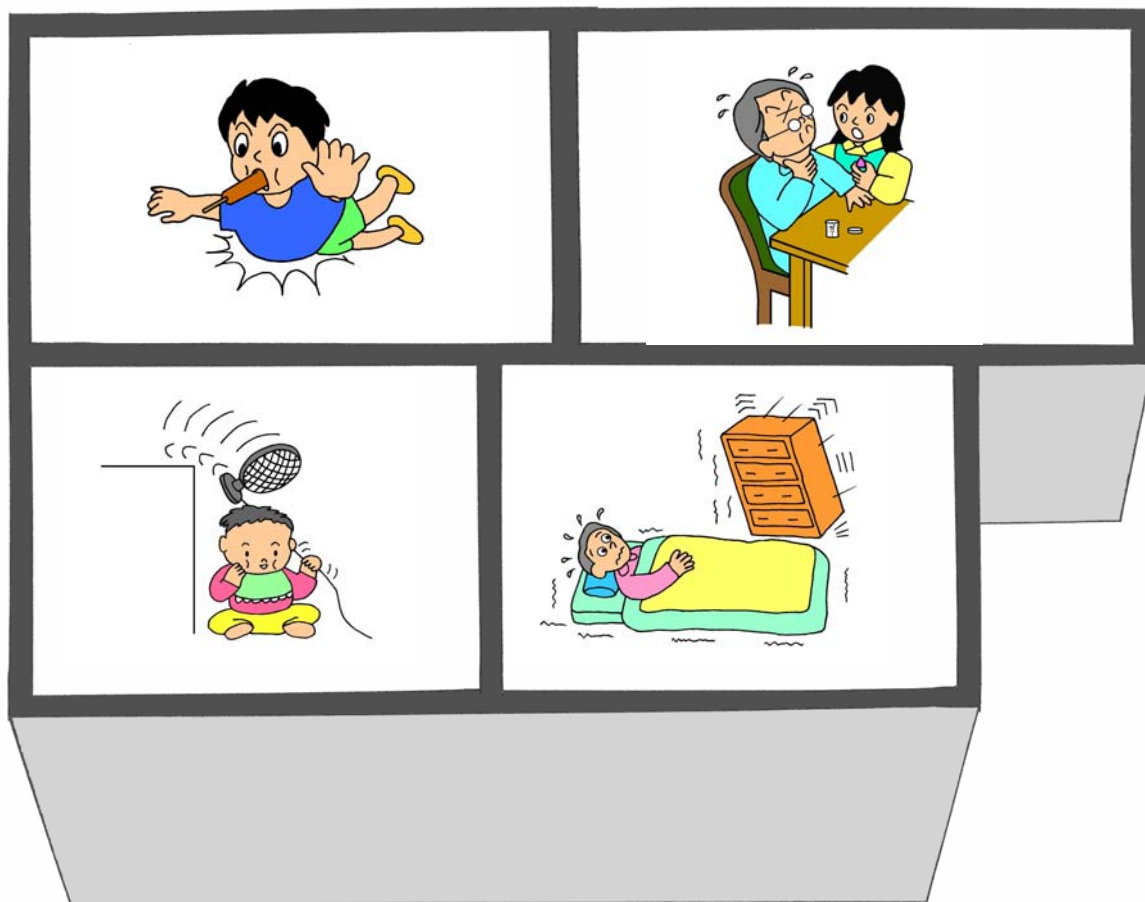
第 1	家庭内における救急事故事例	1
第 2	エアゾール缶・カセットボンベに起因する事故事例	12
第 3	火を使用する設備・器具によるガス事故事例	17

第1 家庭内における救急事件事例

どこの家庭でも、つまずいて転びそうになったり、熱湯をこぼしそうになったり、多かれ少なかれヒヤッとする体験を一度はしていることでしょう。こうした体験は重大事故へと発展するおそれもあります。

人は同じ環境の中にあっても、年齢などによって周囲を見る目の高さや視点がそれぞれ異なるものです。特に、小さな子どもや高齢者にとっての危険性は通常では予測しにくいところに潜んでいます。いろいろな目の高さや視点に立って、「事故が起きるかもしれない。」という観点から家庭内を見渡してみましょ。今まで気がつかなかった危険性が見つかるかもしれません。

ここでは、身近に発生した事件事例をまとめていますので、家庭内における事故の危険性について考えてください。



1. 挟まれる

事例1 【ベビーカーを広げ幼児の指を挟む】

母親がベビーカーを広げたところ、そばにいた娘の指を挟み、受傷した。（0歳女児、軽症）



事例2 【自動ドアに指を挟まれる】

マンションの1階で、子どもが閉まりかけた自動ドアに指を挟み、受傷した。（1歳女児、軽症）



事例3 【風呂場のドアに指を挟む】

風呂上りの姉が風呂場のドアを閉めたところ、妹の指が挟まれて受傷した。（1歳女児、軽症）



事例4 【エスカレーターに足が挟まれる】

曾祖母と手をつなぎ、デパートの上りエスカレーターに乗っていた際、子どもの長靴が、エスカレーターのステップとスカートガードの隙間に挟まれて受傷した。（2歳女児、軽症）



事例5 【鉄製のドアに挟まれる】

自宅の居室で、鉄製のドアが風で閉まり、手を挟んで受傷した。（5歳男児、軽症）



事例6 【ベランダの柵に足を挟む】

自宅でかくれんぼをしていたところ、誤って3階ベランダの柵に足を挟み、受傷した。(7歳女児、軽症)



事例7 【シュレッダーに指を挟む】

事務員がシュレッダーでCDを裁断中、右指をシュレッダーに巻き込まれて受傷した。(31歳女性、軽症)



事例8 【フェンスを乗り越え指を挟む】

共同住宅の敷地に設置されている高さ2mのフェンスを乗り越えようとした際、左手の指をフェンスに挟み、受傷した。

(35歳男性、中等症)



事例9 【パワーウィンドウで腕を挟む】

自動車に乗り運転席からバックミラーを拭いていたところ、誤ってパワーウィンドウのスイッチを押したため、閉まってきたウィンドウに腕を挟み、受傷した。

(48歳女性、軽症)



事例10 【エレベーターのドアを押さえようとして】

エレベーターに乗ろうとした際、ドアが閉まりそうになったので、開けようとして右手でドアを押さえたところ、指を挟み、受傷した。(71歳男性、軽症)



事例 11 【犬のリードがエレベーターに挟まれる】

犬の散歩から帰宅しエレベーターに乗っていたところ、同乗していた人が途中で降りたことから、犬が後を追ってエレベーターから出てしまった。ドアが閉まりエレベーターが上昇し、女性はリードを手に巻きつけていたため、リードをつかんでいた手を受傷した。（95歳女性、中等症）



2. 転倒

事例 1 【ベビーカー内に立ち上がり転倒】

ベビーカーに乗っていた子どもが、立ち上がったところ、バランスを崩して転倒し、受傷した。（1歳女児、軽症）



事例 2 【ペットボトルをくわえたまま転倒】

自宅居室内で、子どもがペットボトルをくわえたまま歩いていて転倒し、受傷した。

（1歳女児、軽症）



事例 3 【ブロンズ像にぶら下がり転倒】

ゲームセンターに置かれていたブロンズ像に、ぶら下がり遊んでいたところ、ブロンズ像とともに転倒し、受傷した。（6歳女児、中等症）



事例 4 【階段から降りる際に転倒】

自宅の階段で、布団を持って2階から降りる際、足を滑らせ転倒し、受傷した。（39歳男性、中等症）



事例5 【エレベーターの段差で転倒】

公共施設のエレベーターから降りる際、通路との段差でバランスを崩して車椅子ごと転倒し、受傷した。（40歳女性、重症）



事例6 【動く歩道でつまずき転倒】

動く歩道に乗っていた男性が、終点付近でつまずいて転倒し、受傷した。（80歳男性、軽症）



3. 衝突

事例1 【ソファではねてテーブルに衝突】

自宅居室で、ソファではねていたところ、大理石製のテーブルにおでこをぶつけ、受傷した。（5歳男児、軽症）

事例2 【ゲームのコントローラーが頭に衝突】

自宅居室で子どもとテレビゲームで遊んでいたところ、父親が振り回したコントローラーが手元から離れ、子どもの後頭部に当たり、受傷した。（8歳男児、軽症）



4. 落下物

事例1 【テーブルから卓上扇風機が落下】

テーブルの上に置いてあった卓上扇風機のコードを引っ張ったため、扇風機が子どもの頭に落下し、受傷した。（0歳女児、軽症）



事例2 【台からテレビが落下】

子どもがテレビの後ろで遊んでいたところ、コードに足を引っ掛けたため、台の上に乗っていたテレビが頭の上に落下し、受傷した。（2歳男児、中等症）



事例3 【蛍光灯の金具が外れて落下】

蛍光灯のスイッチの紐を強く引いたところ、金具が外れて目に当たり、受傷した。（5歳男児、軽症）



事例4 【地震の揺れでタンスが倒れる】

自宅居室で就寝中、地震の揺れで体の上にタンスが倒れてきて受傷した。（42歳女性、軽症）



事例5 【冷蔵庫の上から鍋の蓋が落下】

冷蔵庫の扉を閉めた際、衝撃で冷蔵庫の上に置いてあった鍋の蓋が頭に落下し、受傷した。

（78歳女性、軽症）



5. 刃物・鋭利物

事例1 【置いてあった包丁で切創】

母親がりんごの皮をむいた後、包丁をテーブルの上に放置したため、子どもが包丁に手を触れて受傷した。
(1歳男児、軽症)



事例2 【フォークが頭に刺さる】

子どもが食事中、椅子から転落し手に持っていたフォークが頭に刺さり、受傷した。
(4歳男児、軽症)



事例3 【ボールペンをくわえて遊ぶ】

ボールペンを口にくわえて遊んでいるうち口腔内を受傷した。
(5歳男児、軽症)



事例4 【はさみで紙を切っているところに手を出す】

兄がはさみで紙を切っているところに、弟が手を出したため、誤ってはさみに触れて受傷した。
(5歳男児、軽症)



事例5 【ミキサーに手を入れ切創】

自宅台所で、ミキサーを使い野菜ジュースを作っていた。ミキサーが動かなくなったので、容器内に手を入れた際、ミキサーが動き出し、切創した。
(34歳男性、軽症)



6. 鈍器物

事例1 【投げたリモコンが頭に当たる】

母親が投げたリモコンが娘の頭に当たり、受傷した。（5歳女兒、軽症）

事例2 【ゴルフクラブが頭に当たる】

自宅居室内で、夫がゴルフクラブを素振りした際、クラブが妻の左側頭部に当たり、受傷した。（51歳女性、軽症）

7. 転落

事例1 【公園の石垣から転落】

公園で遊んでいて、高さ約3メートルの石垣から転落し、受傷した。（5歳男児、重篤）



事例2 【すべり台上から自転車に乗り転落】

公園のすべり台上から自転車で滑走した際、転落して受傷した。

（10歳男児、重症）

8. 墜落

事例1 【クーハンの紐がはずれ乳児が墜落】

屋外で母親が乳児をクーハンに入れていたところ、クーハンの片方の紐が外れ、乳児が墜落して受傷した。

（0歳女児、軽症）



事例2 【2階の出窓から地面に墜落】

母親と知人宅に遊びに来ていた男の子が、母親が目を離したすきに、2階の出窓から地面に墜落し、受傷した。（2歳男児、重症）



9. 高温液体等

事例1 【鍋で火傷】

夕食の支度中、母親がそばにいない間に娘が調理中のホットプレート鍋の中に手を入れてしまい、受傷した。(1歳女児、軽症)



事例2 【浴槽に落下】

風呂の蓋の上で遊んでいたところ、蓋がはずれて湯がはってある浴槽に落下し、受傷した。(5歳男児、中等症)



10. 溺水

事例1 【小児が浴槽内で】

自宅浴室で、少量の湯を入れた浴槽に子どもを入浴させていたところ、溺れてしまった。(1歳男児、中等症)

事例2 【高齢者が浴槽内で】

自宅で、入浴時間が長いため、家族が心配して確認にいったところ、浴槽内に沈んでいた。(93歳女性、死亡)



11. 異物誤飲

事例1 【水と間違え酒を飲む】

酒を水と間違え、子どもが飲んだ。(1歳男児、軽症)



事例2 【防虫剤を食べる】

防虫剤を子どもが間違えて食べてしまった。
(1歳男児、軽症)

事例3 【つりのおもりを飲む】

魚釣り用の鉛製のおもりを、子どもが誤って飲み込んだ。
(2歳男児、軽症)



事例4 【洗濯用漂白剤を飲む】

洗濯用漂白剤を薄めて入れた霧吹き用のビンを、洗濯機置場に置いておいたところ、子どもがくわえて中の漂白剤を飲んでしまった。
(2歳男児、軽症)



事例5 【接着剤を目に塗る】

自宅居室で、瞬間接着剤を目に塗り、目が開かなくなった。
(4歳男児、軽症)



12. 洗浄剤・薬

事例1 【子どもが大人用の風邪薬を飲む】

テーブルに置いてあった大人用の風邪薬を、子どもが飲んだ。(1歳女児、軽症)

事例2 【漂白剤のガスを吸う】

台所を掃除中、酸性と塩素系の2種類の洗浄剤を使用していたため、化学反応して発生したガスを吸い受傷した。(45歳男性、中等症)



13. 窒息

事例1 【もちが喉につまる】

もちを食べていたところ、喉につまらせ突然苦しみだして、意識を失った。(72歳男性、重篤)



事例2 【こんにやくゼリーが喉につまる】

母親にこんにやくゼリーを食べさせたところ、喉につまらせた。(89歳女性、重篤)



14. その他

事例 【ペットボトルが破裂】

ペットボトルにドライアイスを入れて遊んでいたところ、ペットボトルが破裂し、顔を受傷した。(11歳男児、軽症)



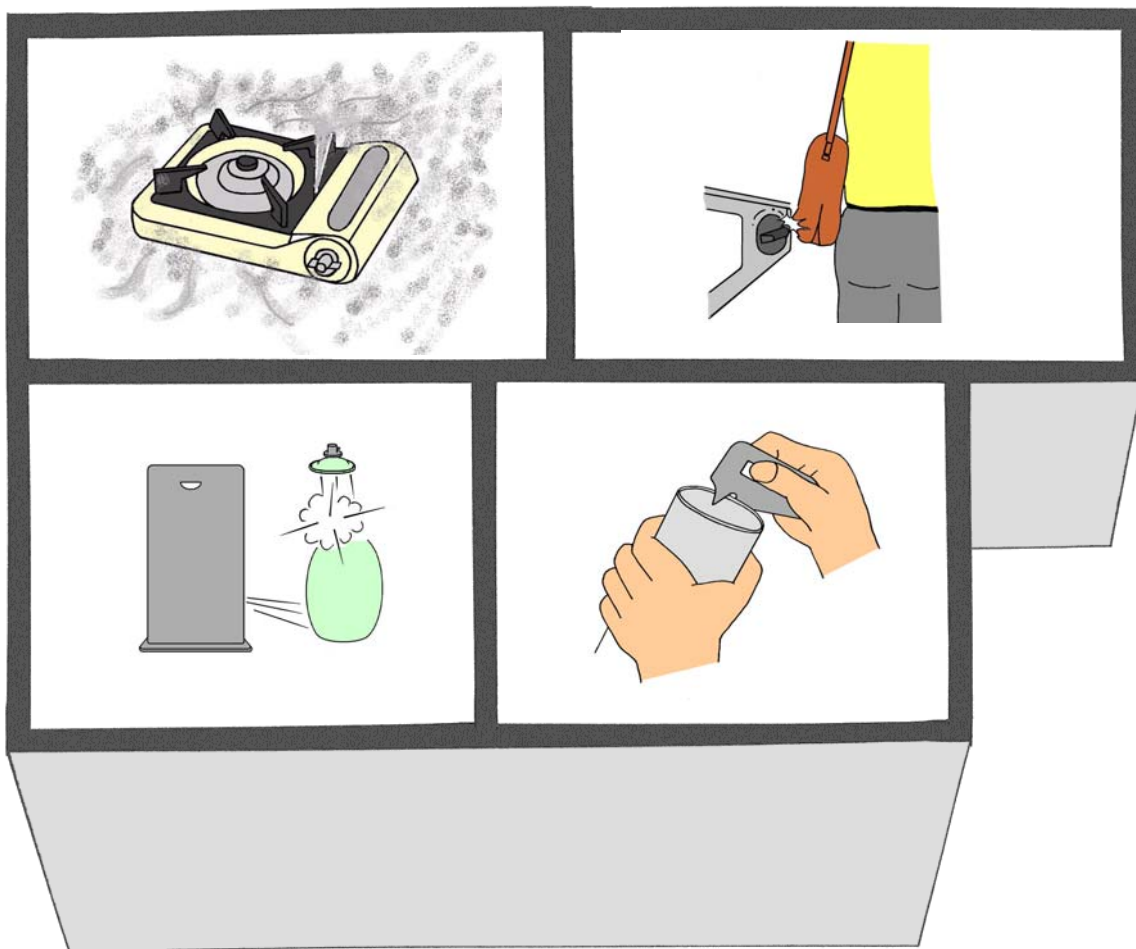
第2 エアゾール缶・カセットボンベに起因する事故事例

エアゾール缶やカセットボンベは、手軽で、しかも広い用途で使用できるといった便利な反面、エアゾール缶の噴射剤として可燃性の液化石油ガス(LPG)が使用されていることから、使い方を誤ると爆発するなどの危険性も併せ持っており、毎年多数の事故が報告されています。

家庭内で起こる事故のほとんどは、エアゾール缶等に対する基本知識の不足や誤った使い方などが要因となっています。

このようなことから東京消防庁では、エアゾール缶等を廃棄する時は、『捨てるときは中身を完全に使い切り、穴を開けないで不燃ゴミとして出す』ことを指導しています。

ここでは、エアゾール缶等に係る事故とはどのようなものなのか、また、その危険性はどのようなものなのかについて認識してもらうために、事故事例を取り上げました。



1. 穴あけ

事例1 【ガスコンロの火に引火】

共同住宅に住む30代女性が、ダイニングキッチンで使用済みの制汗スプレーを廃棄しようと、市販の穴あけ器で穴を開けたところ、残っていたガスが噴出し、近くで使用していたガスコンロの火に引火し、火災となった。

負傷者 女性、軽症（熱傷）

事例2 【瞬間湯沸器の種火に引火】

共同住宅に住む50代女性が、ヘアースプレー缶に残っていたガスを台所で抜こうと、缶の底部に缶切りで穴を開けたところ、漏れたガスが瞬間湯沸器の種火に引火し、火災となった。

負傷者 女性、軽症（左手側部熱傷）



事例3 【ガスコンロの火に引火】

共同住宅に住む50代男性が、お湯を沸かすために点火していたガスコンロ脇の流し台で、廃棄するためのヘアースプレー缶からガスを抜こうとして缶切りで底部に穴を開けたところ、中のガスが噴出、ガスコンロの火に引火し、火災となった。

負傷者 男性、軽症（両手熱傷）



2. 暖房器具

事例1 【石油ファンヒーターの前にヘアースプレー】

共同住宅に住む40代男性が、石油ファンヒーターの前で整髪後、ヘアースプレー缶を石油ファンヒーターの前面に置いたため、スプレー缶が熱せられ破裂、ガスが漏洩し、石油ファンヒーターの炎に引火し、火災となった。

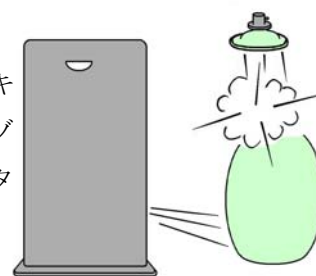
負傷者 男性、軽症（顔面熱傷）



事例2 【石油ファンヒータの前に殺虫剤】

住宅に住む80代女性が、石油ファンヒータの前にゴキブリ用殺虫剤のエアゾール缶を置いたため、温風でエアゾール缶が熱せられ破裂、ガスが漏洩し、石油ファンヒータの炎に引火し、火災となった。

負傷者 なし



3. 調理器具

事例1 【電気クッキングヒータのスイッチが入り、カセットボンベが爆発】

共同住宅に住む30代男性が、出勤するためキッチンの前を通った際、通路が狭かったことから体の一部が電気クッキングヒータの押し回し式スイッチに触れ、電源が入った。その後、ヒータの上に置かれていたカセットこんろの合成樹脂製の脚が燃え、カセットボンベが過熱され爆発し、火災となった。

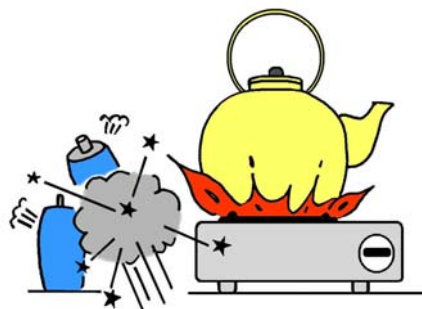
負傷者 なし



事例2 【ガスボンベが熱せられ、破裂】

40代男性が、駅前広場でインスタントラーメンを作るため、キャンプ用こんろでお湯を沸かしていたところ、そばに置いていた予備のガスボンベが熱せられて破裂し、漏れたガスがこんろの火に引火し、火災となった。

負傷者 男性、軽症（左前腕部熱傷）



4. 取扱不適

事例1 【殺虫剤を放射した後、ライターを点火】

住宅に住む10代の子どもが、台所の蠅を駆除しようとエアゾール式の殺虫剤を放射したが、駆除することができなかった。室内が臭くなったので窓を開けた後、点火用ライターで駆除しようと点火したところ、室内に残っていた殺虫剤のガスに引火し、火災となった。

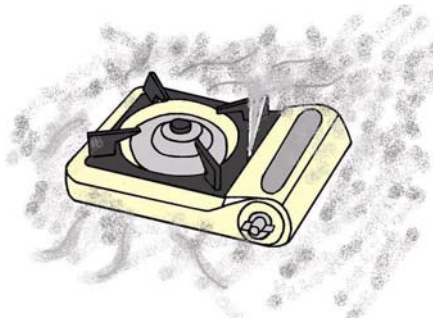
負傷者 なし



事例2 【ボンベが完全にセットされていないことに気付かずに点火】

共同住宅に住む70代男性が、カセットコンロにボンベをセットしたが、ボンベが完全にセットされておらず、ガスが漏れていた。ガス漏れに気付かず、カセットコンロの点火スイッチを廻したため、漏れたガスが点火火花に引火し、火災となった。

負傷者 男性、中等症（気管熱傷）



5. 参考

家庭内でのエアゾール製品に係る事故を防ぐポイント(英訳)

Tips for Fire Safety with Aerosol Products in the Home

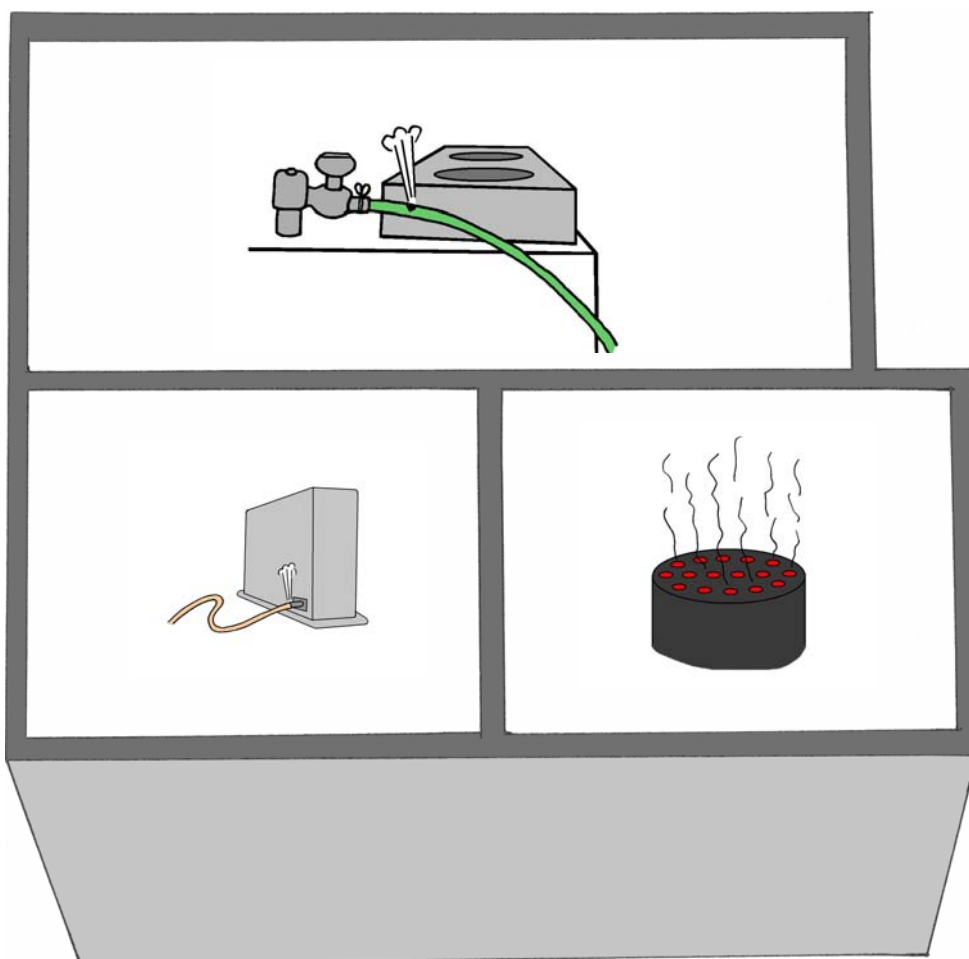
日 本 文	英 文
エアゾール製品等は火気器具、暖房器具の近くでは使用せず、また、置かないようにしましょう。	<i>Keep aerosol products away from fire-producing appliances like heaters.</i>
エアゾール製品等を使用する時は、必ず取り扱い上の注意事項をよく読んで正しく使いましょう。	<i>Read the instructions carefully before you use aerosol products.</i>
エアゾール缶等を捨てる時は完全に使い切り、不燃ゴミとして捨てましょう。 缶に穴を開けるのは、危険です。	<i>Empty aerosol cans out and dispose of them as nonburnable waste. Making a hole on the can would be dangerous.</i>
可燃ガスを抜き取る際は、缶に穴を開けるのではなく、風通しの良い、屋外の安全な場所で正しい操作による噴射を行いましょう。	<i>Do not make a hole on the can when you let the gas out. Spray the gas out at an airy place outside the house.</i>

第3 火を使用する設備・器具によるガス事故事例

ガス事故の発生件数は、昭和61年をピークに減少していますが、設備・器具の取扱不適や維持管理不適などで発生したものが多くあります。

また、ちょっとした不注意や使用方法の誤りから起きているものも少なくありません。

ここでは、これらの事故に対する安全意識を高めてもらうことを目的に、屋内で起きた身近な事例を取り上げました。

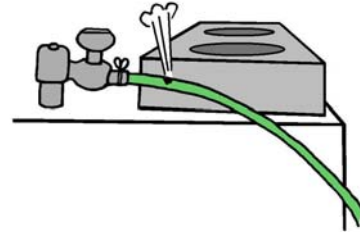


1. ガス漏れ

事例1 【ガストーブのホースが熱により劣化】

住宅の台所のガス栓からガストーブに接続されたゴム管が、ガス台の横に敷設されていた。調理による放熱等で劣化し、亀裂が生じてガス漏れが発生した。居住者は就寝していたが、隣人がガス漏れ警報器の鳴動に気付き、119番通報した。

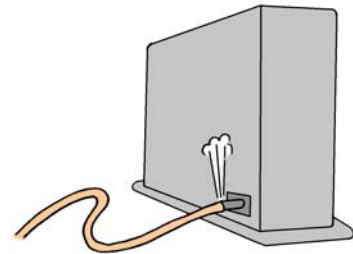
負傷者 なし



事例2 【器具に適合しないガスホース】

共同住宅の居室に設置されたガスファンヒータに、器具に適合しないガスホースを取り付けたため、緩みが生じてガスが漏洩した。新聞配達中の女性がガスの臭気を感じて、119番通報した。

負傷者 なし



事例3 【やかんの吹きこぼれで火が消え】

共同住宅に住む30代女性が、麦茶を煮出すために、ガスコンロにやかんをのせて、火をつけたが、そのことを忘れて出勤した。その後、やかんの麦茶が吹きこぼれて火が消え、ガス漏れが発生した。隣人がガス漏れ警報器の警報音を聞き、119番通報した。

負傷者 なし

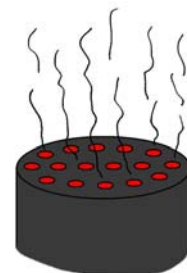


2. 一酸化炭素中毒

事例1 【お茶会で使用していた練炭で】

自宅の茶室で、お茶会を開いていた。長時間、閉めきったまま2箇所で練炭を使用していたため、換気不足となり、7人のうち5人が意識障害及び痙攣や頭痛を訴え、救急要請した。

負傷者 女性2人、中等症（一酸化炭素中毒）



事例2 【火鉢で部屋を暖房】

自宅10畳の和室で、女性3人が部屋を閉めきったまま暖房用として長時間にわたり火鉢を使用していたため、換気不足となり、3人のうち1人が気分が悪くなりトイレで動けなくなったところを、娘が発見し救急要請した。

負傷者 女性3人、軽症

(一酸化炭素中毒、一過性脳虚血発作、意識消失発作)



事例3 【業務用ガスオーブンで8人が受傷】

飲食店の厨房内で、換気を行わずに業務用ガスオーブンを使用していたため、不完全燃焼となり一酸化炭素が発生して従業員がめまいを訴えた。出勤した他の従業員が、同じように気分が悪くなったため、救急要請した。

負傷者 女性6人・男性2人、重篤1人・中等症5人・軽症2人（一酸化炭素中毒）

3. 取扱不適

事例1 【ガスレンジに生ガスが滞留】

飲食店の調理場で、ガスレンジに点火する際、何回も点火したが火がつかず、そのうちにガスがレンジ内に滞留した。さらに点火したところ爆発し、顔面に火傷を負った。

負傷者 男性、中等症（顔面熱傷）

事例2 【シュレッダーに潤滑用スプレーを吹きつけ】

住宅に住む50代女性が、自室においてシュレッダーで紙を裁断中、切断状態が悪くなったので電源を切らずに、潤滑用スプレーを回転部分に吹きつけたところ、紙受けボックス上部で可燃性ガスが爆発し、受傷した。

負傷者 女性、軽症（顔面熱傷）

